

2014年度 出向報告書

公益社団法人日本青年会議所
2014年度 国家グループ
真の経済復興創造委員会 副委員長
江口 健太郎

1. 事業内容

(1) 日本経済を成長に導く中小零細企業戦略の推進

1. 国内におけるマクロ・ミクロ両面における経済復興の調査・研究・発信
2. 中小零細企業の成長戦略の調査・研究・実施
3. 未来の自由貿易を見据えたグローバルな視点での経済復興の調査・研究・発信
4. J C 議連等との経済復興に向けての連携
5. 国とのコラボレーションによる経済ネットワークの構築

(2) 国際社会との経済交流の推進

1. ロシア並びにアジア各国との経済交流事業の実施
2. G 2 0 Y E A サミットへの参加・対応
3. 各種青年経済団体との経済交流の実施

2. 所感

2014年度国家グループ真の経済復興創造委員会、副委員長として出向させていただきました。初めての日本出向で副委員長という大役でしたが、諸先輩の歩んでこられた道と、長岡 J C の看板を汚さぬよう精一杯務めさせていただきました。小川小幹事をはじめとした長岡からの出向メンバー、出向を支えてくれた長岡 J C のメンバー、諸先輩方、出向したことで必然的に出会えた多くの方々との絆のおかげで一年間の職を全うすることができ、感謝しております。

真の経済復興創造委員会では日本の真の経済復興に向けて、日本の中小企業が自ら立ち上がるために様々な事業を展開してまいりました。J C のネットワークを生かし、J C だからこそできる青年経済人としての日本、地域の経済を担うリーダーとしての役割を果たすべく、グローバル化する時代の中で私たち青年経済人がその役割と責任を自覚し、国家間での友好な関係構築へ向けて未来を切り拓き、「たくましい国」日本の創造に向けて邁進してまいりました。

担当させていただいた第3小委員会では担当事業として「日本・ロシア経済交流事業」を担わせていただきました。国内経済市場の縮小や、人口減少に伴う景気後退が懸念される日本経済にとって更なる経済成長を目指していくには、中小企業による海外との経済活動をさらに活発化していく必要があり、日本の真の経済復興のためには、私たちは国外にも目を向ける必要性があるということを感じていただくことができました。情勢の懸念はありましたが、未来志向での隣国ロシアとの関係構築へ向けて、互いの持つ可能性を友好的で発展的な関係へと昇華させ、諸問題の解決、より迅速な情報の共有へむけて、相互の交流、訪問を重ねるとともに、調査、研究、発信を行いました。日本経済の根底を支える中小企業のビジネスチャンスを創出し、ビジネス交流の場を提供し、相互の経済成長、発展に繋げるために、各省庁や J C 議連、各種関係諸団体との連携を深めて、また、一年を通じて日本 J C ロシア友好の会との連携を図り、毎月の理事会等に参加させていただき、歴代会頭の皆様をはじめとした多くの方々からご指導をいただきました。

はじめは近くて遠い国であったロシアでの事業構築までには、これまで持っていたイメージを払拭し、意識変革に向けて機会を創出する必要がありました。過程には言葉や習慣の壁があり、困難が多くありました。日本JCとしても初の事業でしたが、一年を通して試行錯誤しながら止まることなく走り続けてきた結果、2015年度も継続事業として「日本・ロシア経済交流事業」が行われることとなり嬉しく思っております。これからも全国各地から多くの青年経済人が自ら立ち上がり、ロシアとのビジネスの構築と民間交流の道を歩み続けていただきたいと思います。2014年度の「日本・ロシア経済交流事業」は小さいけれど大きな一歩となりました。グローバル化する時代の中で、日本が生き残り、存在感を示し、世界を牽引していく「たくましい国」として、私たちが青年経済人としての責任を今後も果たしていかなければならないと思います。

2014年度日本JCに副委員長の職をいただき、出向しなければわからなかったものや多くの気づきがありました。LOMに持ち帰れるものが確かにあります。出向しなければ得られない絆や出会いが必ずあります。これからも多くのメンバーに出向の機会を逃すことなく積極的に出向していただきたいと思います。最後になりましたが、この機会を与えて下さり、ご指導と励ましの言葉をいただきました、佐田理事長に感謝申し上げます。お力添えをいただきました先輩、メンバーの皆様、快く送り出していただきました桑原委員長、青少年委員会のメンバーの皆様、ありがとうございました。苦楽を共にしたメンバーの皆様一年間本当にありがとうございました。